

<p>機械式継手 (5,5,3)</p> <p>機械式継手は「鉄筋継手工事標準仕様書・機械式継手工事」(2017年)(公社)日本鉄筋継手協会による</p> <p>A級及びS A級継手の適用箇所 ※無し (・A級 ・S A級)</p> <p>継手の種類 ※図示</p> <p>継手部のあき ※鉄筋コンクリート造配筋規準 2-1-4 鉄筋相互のあきによる</p> <p>作業資格者 ※使用する機械式継手メーカーの技術講習を受け、作業資格者 (5,5,2)として認められた者</p> <p>施工前試験 ※実施しない(A級及びS A級機械式継手は施工前試験を実施する。)</p> <p>継手の位置 ※鉄筋コンクリート造配筋規準 4-2 基礎梁主筋の継手、定着及び余長、5-1 柱主筋の継手、定着及び余長、6-2 大梁筋の継手、定着及び余長による</p> <p>継手部の試験、検査 (5,5,5)</p> <p>※超音波測定試験</p> <p>(採取り1試験ロットあたり(※30箇所・%)</p> <p>試験方法はJIS Z 3064による</p> <p>引張試験(採取り1試験ロットあたり(・)箇所・%)</p> <p>試験方法はJIS Z 2241:2011による</p> <p>※外觀試験(全数)</p> <p>※不合格になった場合の処置は「鉄筋継手工事標準仕様書 機械式継手工事」(2017年)(公社)日本鉄筋継手協会による</p> <p>溶接継手 (5,6,3)</p> <p>溶接継手は「鉄筋継手工事標準仕様書・溶接継手工事」(2017年)(公社)日本鉄筋継手協会による</p> <p>A級継手の適用箇所 ※無し</p> <p>継手の種類 ※図示</p> <p>継手部のあき ※鉄筋コンクリート造配筋規準 2-1-4 鉄筋相互のあきによる</p> <p>継手施工会社 ※(公社)日本鉄筋継手協会から認定を受けたA級継手溶接施工会社又は優良鉄筋溶接会社</p> <p>(公社)日本鉄筋継手協会から認定又は(財)日本建築センターから評定を受けたA級継手溶接施工会社</p> <p>施工前試験 ※実施しない(A級溶接継手は施工前試験を実施する。)</p> <p>継手の位置 ※鉄筋コンクリート造配筋規準 4-2 基礎梁主筋の継手、定着及び余長、5-1 柱主筋の継手、定着及び余長、6-2 大梁筋の継手、定着及び余長による</p> <p>継手部の試験、検査 (5,6,5)</p> <p>※超音波探傷試験</p> <p>(採取り1試験ロットあたり(※30箇所・%)</p> <p>試験方法はJIS Z 3063による</p> <p>引張試験(採取り1試験ロットあたり(・)箇所・%)</p> <p>試験方法はJIS Z 2241:2011による</p> <p>※外觀試験(全数)</p> <p>※不合格になった場合の処置は「鉄筋継手工事標準仕様書 溶接継手工事」(2017年)(公社)日本鉄筋継手協会による</p> <p>溶接閉鎖型の帯筋及びあばら筋 ※(公社)日本鉄筋継手協会の認定を受けた「優良溶接せん断補強筋製造会社」の製品</p> <p>検査機関及び検査技術者</p> <p>検査機関は(公社)日本鉄筋継手協会認定の優良鉄筋継手検査会社又は(社)CIW認定を受けた第三者機関とし、発注は建築元請業者の直接契約とする。</p> <p>検査技術者は(公社)日本鉄筋継手協会の鉄筋継手検査技術者(検査対象継手部の有資格者)で資格種別3種(D3Bを超える場合は4種)の資格者とする。</p> <p>引張試験は原則として公的機関による。</p>	
<p>4. 配筋検査</p> <p>○ 主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。</p>	

<p>6章 コンクリート工事</p> <p>1. コンクリートの種類及び品質 (6,2,1)</p> <p>コンクリートの種類</p> <p>※ JIS A 5308 レディミクストコンクリート</p> <p>・ 国土交通大臣の認定を受けたコンクリート(建築基準法第37条第二号)</p> <p>コンクリートの気乾単位容積質量による種類 ※普通コンクリート・軽量コンクリート</p> <p>コンクリート仕様 (6,2,2,3,4)(6,3,1,2)(6,10,1)(6,14,1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>使用区分</th> <th>設計基準強度 Fc (N/mm²)</th> <th>S (cm)</th> <th>T (kN/m²)</th> <th>混和材料</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基礎・基礎梁・1階床</td> <td>36</td> <td>15</td> <td>23</td> <td>G</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1階立上り以上</td> <td>36</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>G</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>構造体コンクリート</p> <p>場所打ちコンクリート杭</p> <p>外構その他</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>符号</th> <th>名称</th> <th>符号</th> <th>名称</th> <th>符号</th> <th>名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>AE剤</td> <td>D</td> <td>防錆剤</td> <td>G</td> <td>高性能AE減水剤(1種)</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>AE減水剤(1種)</td> <td>E</td> <td>防水材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>膨張材</td> <td>F</td> <td>流動化剤</td> <td>I</td> <td>下記による</td> </tr> </tbody> </table> <p>混和材料I(種類) (6,3,1)</p> <p>(使用方法) (6,3,2)</p> <p>レディミクストコンクリートの類別 (※)I類 (○)II類 (表6,2,1)</p> <p>特殊な要求性能におけるコンクリート</p> <p>・ 海塩粒子の影響を受けるおそれのある箇所、海水の作用を受ける箇所等におけるコンクリート (適用箇所 措置)</p> <p>・ 凍結融解作用を受けるおそれのある箇所におけるコンクリート (適用箇所 措置)</p> <p>・ 酸性土壌、硫酸塩及びその他の侵食性物質又は熱の作用を受ける箇所におけるコンクリート (適用箇所 措置)</p> <p>コンクリートの仕上がり (6,2,5)</p> <p>コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容差、測定方法</p> <p>許容差 ※表6,2,3による</p> <p>セメントの種類 (表6,3,1)(6,3,1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>セメントの種類</th> <th>使用部位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ JIS R 5210</td> <td>※ 普通ポルトランドセメント</td> <td>—</td> <td>※ 下記以外</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ポルトランドセメント</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ JIS R 5211</td> <td>高炉セメント</td> <td>・ A ・ B ・ C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ JIS R 5212</td> <td>シリカセメント</td> <td>・ A ・ B ・ C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ JIS R 5213</td> <td>フライアッシュセメント</td> <td>・ A ・ B ・ C</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ JIS R 5214</td> <td>エコセメント</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 高炉セメントB種及びフライアッシュセメントB種の品質は次による。</p> <p>・ 高炉セメントB種の高炉スラグの混合比は40%以上とする。</p> <p>・ フライアッシュセメントB種のフライアッシュの混合比は15%以上とする。</p> <p>・ 上記のベースセメントの混合比は、セメント製造業者のセメント試験成績表の値により確認する。</p> <p>(使用部位)</p> <p>・ ポルトランドセメントでの低アルカリ系の使用(・する ※しない)</p> <p>(使用部位)</p> <p>普通エコセメント ・使用する ※使用しない</p> <p>再生骨材Hの使用 ・使用する() ※使用しない</p> <p>骨材の種類</p> <p>フェロニッケルスラグ骨材、鋼スラグ骨材及び電気炉融化石炭骨材</p> <p>・使用する() ※使用しない</p> <p>骨材の品質</p> <p>砂利及び砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A・B</p> <p>砕石及び砕砂のアルカリシリカ反応性による区分 ※A・B</p> <p>練混ぜ水</p> <p>スラッジ水は原則使用しない</p> <p>回収水は計画供用期間の級が長期、超長期の場合及び高強度コンクリートには使用しない</p> <p>3. コンクリートの打継ぎ (6,8,4)</p> <p>打継ぎ面に設ける目地の寸法 (○)意匠図による</p> <p>4. 型枠 (6,8,1)</p> <p>外部に面するコンクリートの打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う場合を含む。)の打増し厚さ ※20mm ・図示</p> <p>床コンクリート直均し仕上げの打増し厚さ ・無し ※10mm</p> <p>(6,8,4)</p> <p>せき板、支柱の最小存置期間</p> <p>基礎、梁側、柱、壁 ※表6,8,2による</p> <p>スラブ下、はり下 ※表6,8,3による</p> <p>・ 日(※片持梁、片持ちスラブ</p> <p>・ 打設箇の下階2層分の支柱は残しておく</p>		使用区分	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	S (cm)	T (kN/m ²)	混和材料	備考	基礎・基礎梁・1階床	36	15	23	G		1階立上り以上	36	18	23	G		符号	名称	符号	名称	符号	名称	A	AE剤	D	防錆剤	G	高性能AE減水剤(1種)	B	AE減水剤(1種)	E	防水材			C	膨張材	F	流動化剤	I	下記による	規格番号	規格名称	セメントの種類	使用部位	※ JIS R 5210	※ 普通ポルトランドセメント	—	※ 下記以外		・ ポルトランドセメント			・ JIS R 5211	高炉セメント	・ A ・ B ・ C		・ JIS R 5212	シリカセメント	・ A ・ B ・ C		・ JIS R 5213	フライアッシュセメント	・ A ・ B ・ C		・ JIS R 5214	エコセメント		
使用区分	設計基準強度 Fc (N/mm ²)	S (cm)	T (kN/m ²)	混和材料	備考																																																																		
基礎・基礎梁・1階床	36	15	23	G																																																																			
1階立上り以上	36	18	23	G																																																																			
符号	名称	符号	名称	符号	名称																																																																		
A	AE剤	D	防錆剤	G	高性能AE減水剤(1種)																																																																		
B	AE減水剤(1種)	E	防水材																																																																				
C	膨張材	F	流動化剤	I	下記による																																																																		
規格番号	規格名称	セメントの種類	使用部位																																																																				
※ JIS R 5210	※ 普通ポルトランドセメント	—	※ 下記以外																																																																				
	・ ポルトランドセメント																																																																						
・ JIS R 5211	高炉セメント	・ A ・ B ・ C																																																																					
・ JIS R 5212	シリカセメント	・ A ・ B ・ C																																																																					
・ JIS R 5213	フライアッシュセメント	・ A ・ B ・ C																																																																					
・ JIS R 5214	エコセメント																																																																						

<p>5. 試験 (6,9,2)</p> <p>フレッシュコンクリートの試験</p> <p>試料の採取場所 ※ 荷卸し地点 ・ ポンプの筒先</p> <p>試験 ※ 表6,9,1による</p> <p>コンクリートの強度試験 ※ 行う ・ 行わない (6,9,3)</p> <p>※ 表6,9,2による(※28日は原則として公的機関)</p> <p>6. 軽量コンクリート (6,10,1)</p> <p>適用箇所</p> <p>常時土あるいは水に直接接する部分への使用 ※ 使用しない ・ 使用する (6,10,1)</p> <p>軽量コンクリートの種類及び所要気乾単位容積質量 ・ 1種 ・ 2種(表6,10,1)(6,10,2)</p> <p>適用期間 ※ JASS5による (6,11,1)</p> <p>・ 月 日～ 月 日</p> <p>初期養生を行う期間 ※ コンクリートの圧縮強度が5N/mm²以上となるまで (6,11,4)</p> <p>試験 ※ 表6,11,1による(※28日は原則として公的機関) (6,11,6)</p> <p>7. 暑中コンクリート (6,12,1)</p> <p>適用期間 ※ 日平均気温の年平均が25℃を超える期間 (6,12,1)</p> <p>・ 月 日～ 月 日</p> <p>構造体強度補正值(S) ※ 6 N/mm² ・ N/mm² (6,12,2)</p> <p>適用箇所 (6,13,1)</p> <p>セメントの種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種(低発熱型) (6,13,2)</p> <p>・ 中熱ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種</p> <p>・ 低熱ポルトランドセメント ・ シリカセメント</p> <p>混和剤の種類 ※ AE減水剤又は高性能AE減水剤</p> <p>混和材の種類 ※ 6,13,2(イ)</p> <p>スランプ(cm) ※ 15</p> <p>調合強度を定める材令 ※ 28日 ・ 日 (6,13,5)</p> <p>温度応力解析 ・ 打設計画に合わせ施工者が実施する</p> <p>応力強度比の許容値 ※ 1.3以下 ・ 0.8以下</p> <p>適用箇所 ※ 防水層の保護コンクリート (6,14,1)</p> <p>※ 配管埋設用コンクリート</p> <p>設計基準強度(N/mm²) ※ 18</p> <p>スランプ(cm) ※ 15 ・ 18</p> <p>粗骨材の最大寸法(mm) ※ 25mm以下 (6,14,2)</p> <p>適用箇所 (6,15,1)</p> <p>スランプ(cm) ※ 表6,15,1による</p> <p>設計基準強度が48N/mm²を超える高強度コンクリートを使用する鉄筋コンクリート工事は高強度コンクリート工事特記仕様書による。</p> <p>11. 流動化コンクリート</p> <p>12. 高強度コンクリート</p>	<p>7章 鉄骨工事</p> <p>1. 共通事項 (7,1,3)</p> <p>鉄骨製作工場の加工能力等</p> <p>※ 建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に適合する工場として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場</p> <p>性能評価基準 (※) (H)グレード(適用範囲: 屋根鉄骨)</p> <p>(M)グレード(適用範囲: その他鉄骨)</p> <p>施工管理技術者 (7,1,3)(7,1,4)</p> <p>鉄骨製作管理技術者の配置 ※ 配置する ・ 配置しない</p> <p>鋼材の材質 ※ JIS規格品(規格証明書付)・規格適合品(寸法、強度保証) (7,2,1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ SN400A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SN400B</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SN400C</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SN490B</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SN490C</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SS400</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SM490A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SM490B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ SSC400</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ STK400</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ STK490</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ STKN400B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ STKN490B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ STKR400</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ STKR490</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ BCP235</td> <td></td> <td>材質 SN400・B</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ C(内ダイアフラムの取付(仕口部))</td> </tr> <tr> <td>・ BCP325</td> <td></td> <td>材質 SN490・B</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ C(内ダイアフラムの取付(仕口部))</td> </tr> <tr> <td>・ BCR295</td> <td></td> <td>材質 SN400B</td> </tr> <tr> <td>○ SCW480</td> <td>図示</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 40mmを超える板厚の場合にTMCP鋼とする鋼種</p> <p>・ SN490B</p> <p>○ SN490C</p> <p>電炉鋼材の使用条件</p> <p>使用可能部位 ※ 大梁中央部</p> <p>※ 小梁、間柱などの二次部材</p> <p>※ スプラインプレート、ガセットプレート、リブプレート</p> <p>板厚 ※ 40mm以下</p> <p>化学成分及び機械的性質 ※ JIS規格の化学成分及び機械的性質のほか、以下を満足するものとし、ミルシートで確認する。</p> <p>化学成分 ※ S ≤ 0.008% (適用範囲: SN400C及びSN490Cの広幅平鋼と鋼板)</p> <p>※ S ≤ 0.008% (適用範囲: SN400B及びSN490Bの広幅平鋼と鋼板)</p> <p>シャルピー吸収エネルギーV₅₀(0℃)</p> <p>※ 70J以上(適用範囲: SN400B, SN400C)</p> <p>※ 100J以上(適用範囲: SN490B, SN490C)</p> <p>板厚方向の絞り値RA ※ 25%以上(適用範囲: SN400C, SN490C)</p> <p>高力ボルト (7,2,2)</p> <p>○ トルシア形高力ボルトセットの種類</p> <p>2種(S10T、建築基準法に基づき認定を受けたもの)</p> <p>・ JIS形高力ボルト(JIS B 1186)セットの種類</p> <p>2種(F10T)</p> <p>○ 溶融亜鉛めっき高力ボルトセットの種類</p> <p>1種(F8T相当、建築基準法に基づき認定を受けたもの)</p> <p>普通ボルト ボルト及びナット ※ 表7,2,3による (7,2,3)</p> <p>座金 ※ 7,2,3(4)による</p> <p>アンカーボルト (7,2,4)</p> <p>アンカーボルトの材質 構造用 ・ SNR400B ・ SNR490B ※ 図示</p> <p>建方用 ※ SS400</p> <p>アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度</p> <p>構造用 ※ JIS B 1220 構造用転造両ねじアンカーボルト</p> <p>セット(アンカーボルト・ナット・座金のセット)</p> <p>・ 図示</p> <p>建方用 ※ 表7,2,3による</p> <p>溶接材料 ※ 7,2,5(1),(2)による (7,2,5)</p> <p>ターンバックル(JIS A 5540)(JIS A 5541) (7,2,6)</p> <p>ターンバックル鋼 ※ 割替式 ・ バイブ式</p> <p>ターンバックルボルト ※ 羽子板ボルト ・ アイボルト ・ 面ねじボルト</p> <p>デッキプレート(JIS G 3352) (6,8,3)(7,2,7)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材質</th> <th>めっき付着量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ キーストンプレート</td> <td>※ SDP1T ・ SDP1TG</td> <td>・ Z12</td> </tr> <tr> <td>・ デッキプレート</td> <td>・ SDP1T ※ SDP1TG</td> <td>※ Z12 ・ Z27</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ SDP2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 合成スラブ用デッキプレート(建築基準法に基づき指定又は認定を受けたもの)</td> <td>・ SDP1T</td> <td>※ Z12 ・ Z27</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ SDP2 ※ SDP2G</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 床型種用鋼製デッキプレート</td> <td>※ SGCC ・ SGHC</td> <td>※ Z12 ・ Z27</td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	適用箇所	備考	・ SN400A			○ SN400B	図示		○ SN400C	図示		○ SN490B	図示		○ SN490C	図示		○ SS400	図示		・ SM490A			・ SM490B			○ SSC400	図示		○ STK400	図示		○ STK490	図示		・ STKN400B			・ STKN490B			・ STKR400			・ STKR490			・ BCP235		材質 SN400・B			・ C(内ダイアフラムの取付(仕口部))	・ BCP325		材質 SN490・B			・ C(内ダイアフラムの取付(仕口部))	・ BCR295		材質 SN400B	○ SCW480	図示		種別	材質	めっき付着量	・ キーストンプレート	※ SDP1T ・ SDP1TG	・ Z12	・ デッキプレート	・ SDP1T ※ SDP1TG	※ Z12 ・ Z27		・ SDP2		・ 合成スラブ用デッキプレート(建築基準法に基づき指定又は認定を受けたもの)	・ SDP1T	※ Z12 ・ Z27		・ SDP2 ※ SDP2G		・ 床型種用鋼製デッキプレート	※ SGCC ・ SGHC	※ Z12 ・ Z27
種類の記号	適用箇所	備考																																																																																						
・ SN400A																																																																																								
○ SN400B	図示																																																																																							
○ SN400C	図示																																																																																							
○ SN490B	図示																																																																																							
○ SN490C	図示																																																																																							
○ SS400	図示																																																																																							
・ SM490A																																																																																								
・ SM490B																																																																																								
○ SSC400	図示																																																																																							
○ STK400	図示																																																																																							
○ STK490	図示																																																																																							
・ STKN400B																																																																																								
・ STKN490B																																																																																								
・ STKR400																																																																																								
・ STKR490																																																																																								
・ BCP235		材質 SN400・B																																																																																						
		・ C(内ダイアフラムの取付(仕口部))																																																																																						
・ BCP325		材質 SN490・B																																																																																						
		・ C(内ダイアフラムの取付(仕口部))																																																																																						
・ BCR295		材質 SN400B																																																																																						
○ SCW480	図示																																																																																							
種別	材質	めっき付着量																																																																																						
・ キーストンプレート	※ SDP1T ・ SDP1TG	・ Z12																																																																																						
・ デッキプレート	・ SDP1T ※ SDP1TG	※ Z12 ・ Z27																																																																																						
	・ SDP2																																																																																							
・ 合成スラブ用デッキプレート(建築基準法に基づき指定又は認定を受けたもの)	・ SDP1T	※ Z12 ・ Z27																																																																																						
	・ SDP2 ※ SDP2G																																																																																							
・ 床型種用鋼製デッキプレート	※ SGCC ・ SGHC	※ Z12 ・ Z27																																																																																						

<p>設計者</p> <p>一級建築士 一級建築士 一級建築士 構造設計一級建築士 一級建築士</p> <p>第286776号 第298249号 第334570号 第9202号 第382844号</p> <p>渡邊 和幸 土生 達哉 倉内 信幸 野中 翔太 佐藤 亮太</p>		<p>法適合確認</p> <p>検査者</p> <p>設計番号</p> <p>17992</p> <p>特記</p>	<p>徳島県県土整備部営繕課</p> <p>● 工事名</p> <p>徳島県鳴門総合運動公園野球場改築工事のうち建築工事(4)</p> <p>● 図面名</p> <p>建築工事特記仕様書(11) < 構造関係(2) ></p>	<p>● 図面番号</p> <p>S-002</p> <p>● 縮尺</p> <p>1/</p>	<p>第18版B 2023.09.25</p> <p>AZUSA SEKKEI Architects, Engineers & Consultants 株式会社 梓設計 関西支社 一級建築士事務所 大阪(〒) 932-2348</p> <p>MIYA Architect's Office 株式会社 宮建築設計 MIYA Architect's Office 一級建築士事務所 徳島県 徳島市 1-10-9</p>
--	--	--	---	--	---

